

財務諸表に対する注記

- 重要な会計方針
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- 会計方針の変更
なし
- 特定資産の増減及びその残高
特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
母校環境教育積立資産	2,188,222	101,000	36,841	2,252,381
周年事業積立資産	1,642,380	100,620	0	1,743,000
懇親総会積立資産	500,000	0	0	500,000
合計	4,330,602	201,620	36,841	4,495,381

- 特定資産の財源等の内訳
特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に対応 する額
特定資産				
母校環境教育積立資産	2,252,381	2,252,381	0	0
周年事業積立資産	1,743,000		1,743,000	0
懇親総会積立資産	500,000		500,000	0
合計	4,495,381	2,252,381	2,243,000	0

- 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
サーバー	291,500	97,166	194,334
合計	291,500	97,166	194,334

- 保証債務
該当なし
- 指定正味財産から一般正味財産への振替額
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は以下のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
母校環境教育事業にかかわる費用計上に伴う振替額	36,841

- 公益法人会計基準に準拠し、以下の通り財務諸表の見直しを行った。見直しは前年度にさかのぼって行っている。
 - 従来、貸借対照表において預金に含めて計上していた特定の目的のために用途が制約されている預金について、特定資産に計上することとした。その結果、前年度において4,330,602円、当年度において4,495,381円の特定資産を計上している。
 - 従来、指定正味財産に計上していた周年事業積立金、懇親総会積立金についてはその相当額を一般正味財産に計上することとした。その結果、一般正味財産期末残高が前年度2,243,000円、当年度2,142,380円増加し、指定正味財産期末残高が同額それぞれ減少している。

付属明細書

- 特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載
- 引当金の明細
該当なし